

## 1月31日 26春闘討論集会を開催

物価高を上回る大幅賃上げ、実質賃金引き上げ、最賃いまずぐ  
全国一律 1,700 円・めざせ 2,000 円を、労基法解体反対、労  
働時間規制緩和反対、時短、社会保障の拡充、医療・介護崩壊阻  
止、軍拡・戦争反対、非核三原則堅持、核兵器廃絶を

2026 年 1 月 31 日、千代田区春闘共闘の 26 春闘討論集会  
が行われました。

### 議長挨拶

冒頭に茂呂議長があいさつし、『総選挙、いきなり始ま  
った。雪国の方、受験生の方にとってはたまったものでは  
ないのではないかと。本来であれば、国会を開いて物価高対  
策など、国民にとって必要な議論をやるべきではないか。  
年度内の予算成立も危うい。高市首相は、解散総選挙は考  
えていないと言っていたが、今年になって急に解散した。  
解散の理由が不明確。高市さんが首相でよいか、投票して  
くれというが、これは白紙委任しろと同じで大儀なき解散  
だ。統一協会との関係、裏金問題などの追及を逃れるため

ではないか。今回の選挙で自民党も消費税減税を言うようになった。しか  
い、検討加速などと言って、まやか  
しである。また、台湾有事発言で中国との関係を悪化させている。関係回復を  
図ろうともしていない。このせいでパンダが日本から全くなくなった。物  
価高対策をおろそかにし、軍事費を積み増している。

世界では、トランプのアメリカが大暴走している。ベネズエラの大統領を拘束し、  
アメリカに連れ去った。21 世紀になってこんなことが起こるのか、主権国家の  
元首を拉致するのかと驚きである。国際法を無視したものだ。軍事行動では  
100 人ほどの死者が出ている。許されるものではない。狙いはベネズエラの  
資源だ。他にもグリーンランドの領有画策、イランの国内問題に介入しようと  
したり、関税問題をぶり返している。かつての帝国主義、植民地政策を進めて  
いるかのようで、時代を 100 年巻き戻すものだ。アメリカ国内でも  
気に食わないものは弾圧している。独裁者の本質を露わにしている。こう  
したことに對し、多くの国は批判をしているが、高市首相は批判しない。  
アメリカいいなりで軍事費は積み増している。今回の選挙で自民党が勝  
つてしまうと、国民の信任が得られたとして、悪政が進められるのではない  
か。

具体的には、アメリカからの要求で、軍事費 3.5%にする、武器輸出制限撤廃、  
非核三原則見直し、労働時間規制緩和、スパイ防止法を制定しようとしてい  
る。軍事費増額は、国民生活を圧迫する、非核三原則の



冒頭挨拶する茂呂千代田区春闘共闘協議長

見直しは、唯一の戦争被爆国としては、とんでもないことだ。日本被団協のノーベル平和賞を無にするものだ。労働時間規制の緩和では、今でも長労働時間で過労死があるのに、緩和すればさらに過労死が増えるのではないか。スパイ防止法は、戦前の治安維持法と同じで、国民を弾圧と監視するものだ。そういう点で、自民党や維新に政治を任せてはいけなと思う。総選挙の結果を注視したい。

私たちは、26 春闘をたたかう。まずは、賃上げだ。この数年、5%を超える賃上げが行われてきたが、物価高には追い付いていない、実質賃金は下がり、生活改善できていない。賃上げは全労働者に及んでいない。

一方、大企業は、大儲けし、過去最高の内部留保をため込んでいる。それを引き出して、労働者、中小企業にいきわたらせる必要がある。最低賃金の引き上げも重要。東京は、1226 円になったが、生活するには、2000 円が必要になっている。介護や医療の労働者の賃金が低いことの改善が必要。介護や医療の崩壊を防ぐ必要がある。

こうした課題に対して、労働組合の力に確信を持って取り組みたい。皆さんの討論と学習で、深めていきたい。』と述べました。

## 26春闘方針提案と討論

26 春闘方針案の提案について、船越千代田区春闘共闘事務局次長が行いました。はじめにの部分を紹介します。

### 26 春闘方針案

通勤電車に揺られ周りを見渡す。力尽きたように眠る人、せわしなくスマホを操る人、押し潰されそうになりながら天井を見上げる人。誰もが黙ったまま、身の置きどころなく窮屈そうに電車に揺られている。今日も明日も、まるで世界は変わらないかのようだ。

しかし、世界は否応なく変わり続けている。地球の向こうでは戦火が燃えさかる。戦火や貧困のなか多くの命がうばわれ続けている。国政では、自らの裏金問題を先送りし、税と社会保障の給付削減、憲法改悪、軍国化を明確に謳う連立政権が誕生した。野党は排外主義を鮮明にする極右政党が勢力を伸ばした。時代の歯車が大きく逆転している。日々の喧騒に紛れ社会を軋ませる鈍い音が、あなたにも聞こえるだろうか。

キング牧師は「最大の悲劇は、悪人の暴力ではなく、善人の沈黙である」と言った。今こそ声を上げ、私たちが労働者として、市民として権利を掲げてたたかかなければならない。

人間らしく働ける職場をつくるために。自由な学びのために。愛すべき友や家族のために。誰かの決めた「正義」や国家のためでなく、喜びも悲しみも幸せも全てあなたの人生が、他の誰でもない、あなた自身のものであるために。

どんな小さなことだっていい。言葉や行動で思いを表現しよう。一人ひとりを繋いでいこう。明日への希望は私やあなたのなかに輝いている。いま、世界が私たちを待っているのだから。

### ○ 低賃金と物価高騰から生活まもる大幅賃上げ・底上げを

天井が抜けたように続く物価高。生活を守るために賃上げが必要。物価上昇を超える大幅賃上げを勝ち取ろう。最低賃金、いまずぐ全国一律 1,700 円、めざせ 2,000 円を。

### ○ 低賃金と物価高騰から生活まもる大幅賃上げ・底上げを

政府は、労働者保護の抜け道をつくり、骨抜きにしようとしている。働く人が守られない社会なんて許せない。人間らしく働き続けられる社会を目指して、改悪に反対しよう。労働時間短縮、解雇規制法・労働者

保護法などの労働者保護制度を拡充させよう。

### ○ 公共と社会保障を再生拡充させよう

市民の安心安全を守ってきた公務公共の制度が、民営化や独立行政法人化、指定管理者制度などで次々と解体されている。医療分野では、国の定める診療報酬が物価上昇に追いつかず、医療機関の倒産件数は過去最悪を更新し、約7割の病院が赤字を抱えて医療崩壊の危機に直面している。すべての人の命と暮らしが守られる政治へ転換しよう。公務公共サービスを拡充し、再び市民の手に取り戻そう。

### ○ 憲法改悪を阻止し、憲法が活かされる社会へ

戦後被爆 80 年を経て、世界中で核戦争の危機が高まっている。今こそ平和憲法を掲げ、全世界の人々と手をつなぎ、戦争をやめさせ、核廃絶へ力強く前進しよう。

今年は、トランプ、高市などのひどい政治が横行している。これには、声を上げてたたかうことしかない。春闘方針案は、そのことを踏まえて書いている。

重点項目は、4つ。「低賃金と物価高騰から生活まもる大幅賃上げ・底上げを」「低賃金と物価高騰から生活まもる大幅賃上げ・底上げを」「公共と社会保障を再生拡充させよう」「憲法改悪を阻止し、憲法が活かされる社会へ」である。

討論では、7人の方が発言しました。発言の概要は、以下の通りです。

全国一般・一般合同労組・室橋さん

26 春闘の取り組みを紹介したい。最賃を重点に取り組む。最賃署名 1 人 10 筆目標で組合員にお願いしている。アンケートを実施。統一要求書を各職場に配布。使用者に提出するよう取り組む。中高年の賃上げが低いので取り組む。ベア 3 万 3000 円、時給 200 円以上アップ、最賃 2000 円以上、月額 25 万以上の賃上げ要求だ。

区職労・留場さん

この間、特別区職員給与はどの位変わっているのか。2020 年、高卒の時給 1134 円、大卒 1416 円、2026 年、高卒 1544 円、大卒 1788 円で変化がある。

平均年収は、高卒で 400 万円超え、大卒で 470 万円位。最低必要生計費は月額 29 万円を超えるが、公務員の大卒でも追いつかないと言える。時給 2000 円にすると、年収で 525 万円位になる。1500 円だと 387 万円位になる。1700 円で 447 万円位。初任給は、高卒で 36%、大卒で 26%上がっている。中高年層は、一昨年、1000 円、今年は、1 万円位だが低い賃上げになっている。大幅な賃上げが必要だ。また、保育園職場などが年休が取れない。時短も課題になっている。

国公・全経済特許庁支部・小池さん

全国に職場があり、職場討議資料を配っている。昨年の人勤でも物価を超える引き上げにはなっていない。非常勤は、保育時間、看護休暇などが有給化される。15 分単位で年次有休が取れることになった。カスハラが人事院規則に新設された。

26 春闘の要求では、2 万 8000 円、6.5%の賃上げを求める。高卒初任給は、21 万 7000 円、大卒は、24 万 9000 円に引き上げることを要求している。非常勤の時給は、200 円以上の引き上げを求めている。高齢者給与の是正を求めている。

昇任、昇格について、平等に実施することを求める。給与について、地域間格差が広がったので、縮小す

るよう求めて行く。

#### JAL 不当解雇争議・斎藤さん

12月9日、JAL 本社前で集会を行った。4年前、JAL の争議団への分裂工作で4分の3が争議を終えてしまった。そうした下でも、支援の輪は広がっている。会社にとっては、驚異になっていると思う。

JAL 被解雇者労働組合は、都労委に申し立てていた。今年、1月15日に命令が出た。私たちは、人員削減目標が達成されていないと言うことで、解雇された。JAL が国交省に出した安全報告書では、パイロット 269 名、客室乗務員 466 名も削減しすぎている。会社側は、裁判で決着しているので、その説明を一切行わない。ところが、都労委命令では、会社側が、削減目標が超過していることを説明しないのは、不当労働行為だと認めた。誠実な団交を行うことも命令した。社長名で JHU に文書で行うことも命令した。しかし、未だに命令を履行せず、中労委にあげた。会社に対して、「命令に従え」との行動を行っている。都労委には、優先雇用事件がかかっている。解雇した後、JAL は、大量の新規採用を行っているが、一人も解雇者を戻していない。国際基準にも違反している、戻せと言っている。実際に JAL の身分証を持って飛んで働いている者もいるので、戻せと言っているが JAL は応じていない。

JAL の不安全トラブルが続いている。パイロットの飲酒問題があり、解雇しているが、安全問題は解決しないのではないかと。JAL の安全軽視、人権軽視を改めさせる、これが私たちのたたかい、空の安全を守ることもである。引き続き、温かいご支援をお願いしたい。

#### ユニオンちよだ・鈴木さん

ユニオンちよだは19年になる。この1年、労働相談が増えて、20件ほどの労働争議を抱えている。都労委の救済申し立ては3件、あっせん1件、裁判、労働審判は3件行っている。ユニオンちよだのホームページ、地評からの依頼でも相談がある。先週1週間で4件の相談があった。団交は、オンラインでも行っている。

相談の中で多いのが、退職勧奨。最近では、パッケージを提示せずに、評価を不当に下げたり、PIP をかけてわざと不合格にする、自主退職に追い込むことが増えている。また、分単位の日報を書かせて、メンタルで追い込むなど、メンタルをやられて、ユニオンに駆け込むことも増えている。

今、争議になっているデロイト・トーマツの事件がある。元はトーマツ監査法人、現在は外資が入って、世界最大規模のコンサル会社で、国内では、政府の公共事業のプロジェクトの仕事などを行っている。従業員は、高額な年俵である。その中で、数人の方がユニオンちよだに加入し、支部を結成した。先日も、パートナー職から懲戒処分になりそうだと言って加入した。会社に組合加入通知書を送ったところ、その人に懲戒処分を課して、出勤停止を命じてきた。その理由は、「女性の傘に入った」などと懲戒処分には問題があるものであり、はめられたようだ。団交を申し入れたが、拒否してきた。パートナー職は、経営側だという理由だ。私たちは、不当労働行為で、都労委に救済命令を申し立てた。2か月間の出勤停止が解かれたが、理由も告げられず、新たな懲戒処分を受け、ロックアウトされた。当該会社には密告制度があり、それを悪用したものと言える。悪質である。労働委員会で公益委員より、実効確保の措置勧告が出された。これ以上紛争を拡大させない、組合員を遅滞なく職場に戻すようにとの内容だ。この争議の大きな前進につながった。まだ、審理は続いている、職場に戻すよう全力で取り組んでいく。千代田春闘共闘もよろしく。

#### 区職労・桜井さん

戦後日本史講座の紹介をしたい。3月21日から全6回の講座。講師の山田敬男さんに労働学校で教わった人たちで、運営している。昨年11月に、山田さんが「新戦後日本史」という本を出した。最後のところでは、高市政権の誕生という項目もある。今の情勢を考える上でも、戦後史を学ぶ意義があるのではないかと。

講師の山田さんは、早稲田大学を卒業したあと、家永教書裁判に関わり、ボデーガードをやりながら学ん

だ。哲学者の高田求さんに誘われて、東京労働学校で教えた。教え方も学んだ。東京芸術座の団員や東京医労連などの講座も担当した。千代田区でも山田さんを講師に戦後史を学んだ。学習のあと、労働者との交流も行っている。ぜひ、参加者を紹介してほしい。

ユニオンちよだ・区労協常幹・増淵さん

サイネオス支部の現状を報告したい。サウスカロライナを本拠地とする外資の会社。製薬会社から仕事を請け負って、臨床試験を代行したり、副作用があると厚生省に報告するなど。MRの方から相談がある。休職した後、会社が復職を拒んでいる。一人は、金銭解決した。一人は、都労委にあっせんを申し立てたが、会社側は応じなかった。団交を申し入れたが、二カ月後に指定してくるということで都労委に救済申し立てをした。支援をお願いしたい。

出版・茂呂議長

出版労連は、小学館労組が抜けて、財政的にも大変になっている。出版労連の26春闘方針は、6つの柱である。1つは、大幅賃上げ、2つ目は、その他の労働条件、3つ目は社会保障、4つ目は均等待遇、5つ目はハラスメントとジェンダー平等、6つ目は、言論、出版、表現の自由で構成されている。

今年は、最賃1700円要求となっている。働きやすい職場をつくる上で、人権尊重を強調している。

子ども・子育て支援金の負担割合について、労働者3、使用者7という要求を出すよう求めている。また、力による現状変更がある世界情勢を踏まえ、武力ではなく、外交による平和を維持するため、憲法改悪に反対する方針が掲げられた。

教科書については、デジタル教科書がでてくる。今までは教材だった。その検定が行われる。作るには大きなお金がかかるが、販売は高くはできない。教科書会社は大変だ。出版労連でも取り組むが、具体的なものが出てきていない、これからだ。

学校現場は、忙しい、先生が足りない、副校長が授業を持つのは当たり前になっている。中学校の技術科の先生を新規採用したが、5つの学校で教えることになった。その先生は半年で辞めたそう。こういうことでも先生が減っている。予算をつけて、増やさないといけない。

最後に、里見春闘共闘事務局長が発言しました。

26春闘方針案は、2月20日の単組代表者会議で決めたい。ご意見があれば、連絡いただきたい。7人の方に発言いただいた。大変な取り組みだと思う。

3月13日に千代田総行動を行う。その中で、朝ビラ、神保町昼休みデモ、要請などを行う。また、食料支援・労働相談もその日に行う。カンパ、物資の支援をお願いしたい。4月は、9日に総行動を行う。準備会に参加願いたい。

(編集：千代田区労協事務局長 小林秀治)

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

\* 千代田区労協通信バックナンバー / [http://www.chyda-kr.org/kuroukyou\\_news2023.htm](http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm)